

台風14号に伴う停電復旧対応の振り返り

2 0 2 2 年 1 1 月 2 9 日

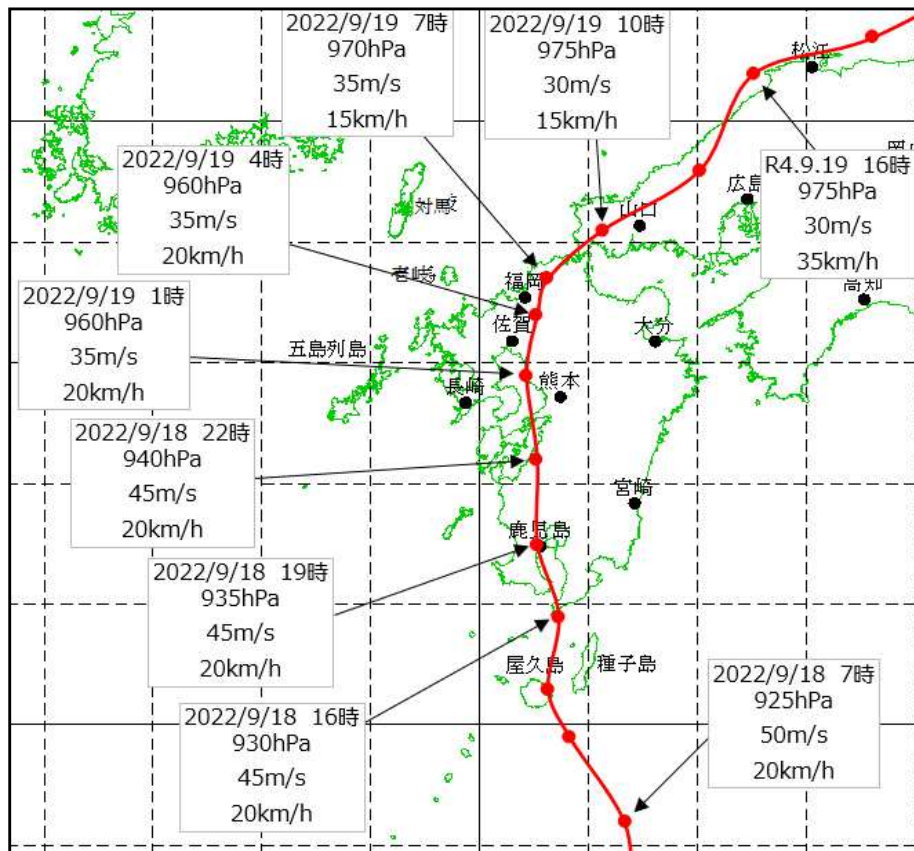
九 州 電 力 株 式 会 社
九 州 電 力 送 配 電 株 式 会 社



(1) 台風の概要

- 台風14号は、非常に強い勢力を維持したまま9/18 夕方頃に鹿児島県に上陸
- その後ゆっくりと北上し九州を縦断、九州エリアが暴風圏を抜けたのは19日夕方頃
- 最大瞬間風速は、鹿児島県屋久島で50.9m/s、大分県蒲江で50.4m/sを観測
- 熊本、宮崎県で線状降水帯が発生するなど、九州南部を中心に大雨が発生
〔宮崎県各地に大雨特別警報が発令（9/18 15時～9/19 11時）〕

〔台風14号の経路〕



〔最大瞬間風速〕

	大分 (蒲江)	熊本 (益城)	宮崎 (小林)	鹿児島 (屋久島)
最大瞬間 風速[m/s]	50.4 (18日21:14)	38.1 (18日21:13)	41.1 (18日14:11)	50.9 (18日11:51)

〔累計雨量 (9/17日 17時 ~ 9/20 15時) 〕

	大分 (宇目)	熊本 (湯前横谷)	宮崎 (えびの)	鹿児島 (田代)
累計雨量 [mm]	525.5	532.5	858.5	423.5

- 暴風雨の影響で、九州管内で最大約353千戸（19日1時）の停電が発生。暴風雨が収まり巡視可能となった南部エリアから直ちに巡視・復旧作業を開始
- 自治体等と緊密に連携し、道路啓開・高圧配電線復旧を進め、21日夜遅くに高圧配電線の送電を完了（立入困難箇所除く）



復旧作業

立入困難箇所復旧対応

(2) 主な設備被害状況

設 備	被 害 内 容
配 電	支持物：481本（折損他）、電線：7,467条径間（断混線他）
送 電	電線：1条径間（断線）
水 力	発電機冠水：2箇所、屋外設備浸水：1箇所
通 信	通信ケーブル：13条（断心）

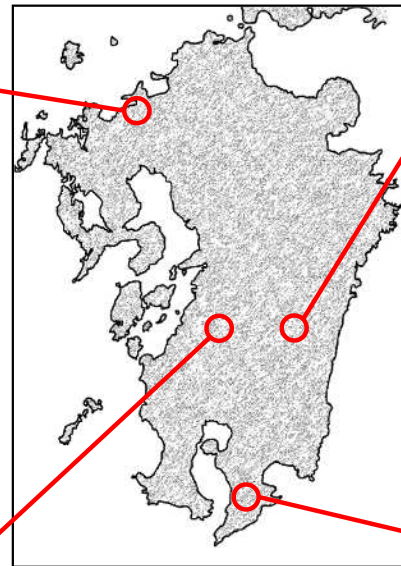
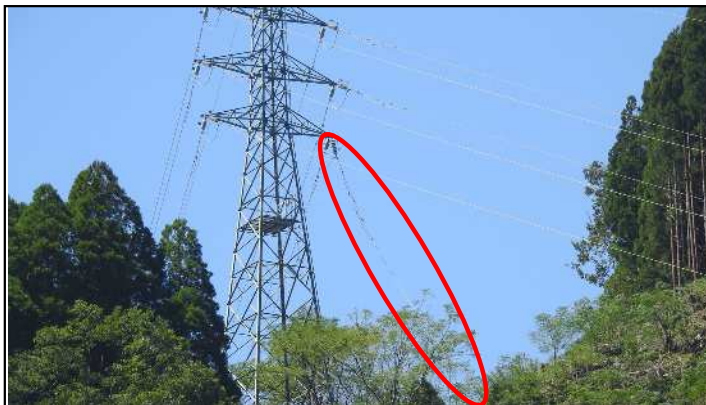
配電：電線断混線（福岡県）



配電：支持物流出、電線断混線（宮崎県）



送電：電線断線（熊本県）

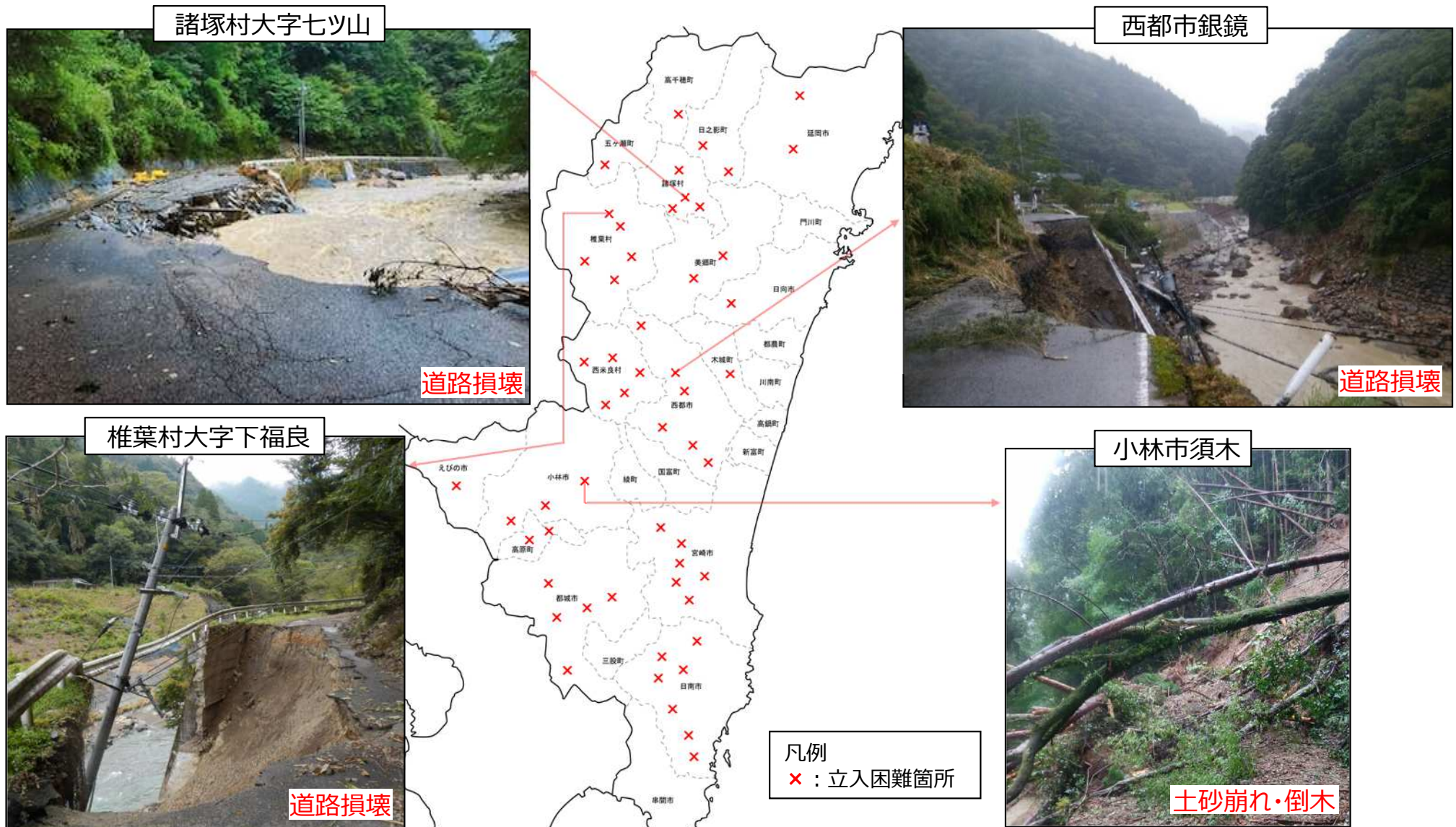


配電：支持物折損、電線断混線（鹿児島県）



【参考：宮崎エリアの主な状況】

- 大雨影響が甚大であった宮崎エリアでは、土砂崩れ・倒木・道路損壊等が多数発生（54箇所）



(1) 対応要員の事前確保

- 広範囲にわたり設備被害が想定される配電部門においては、他部門・協力会社も含めた応援派遣を行い、約2,400人（約1,200班）を巡視班として確保
- 離島については、フェリー等の交通手段が途絶する前に要員を派遣

〔離島への事前派遣〕

派遣先	派遣要員
吉岐・対馬	42 名
五 島	31 名
甑 島	8 名
種子島・屋久島	38 名
奄美諸島	73 名
合 計	192 名



離島（五島）への事前派遣の様子

(2) ドローンおよび通信手段の事前配備

- 土砂崩れ等による巡視困難箇所の発生に備えてドローンを、また通信手段の途絶に備えて衛星通信（VSAT、衛星電話）を各エリアに配置

- 台風通過後、風雨の収まったエリアから直ちに巡視を開始し、設備被害を速やかに把握
- 比較的被害が少なかった九州北部エリア等から停電被害が多発した南部エリアへ応援派遣を実施（計650名）
- 配電部門においては、設備の被害把握から復旧計画・指示を一元管理するシステムを活用し、迅速な復旧を推進



(2) 発電機車の対応

- 土砂崩れにより孤立したエリアの早期送電を図るため、高圧発電機車を搬入し、スポット送電を実施



(1) 復旧見込みの発信

- 巡視による被害の早期把握に努めるとともに、判明した状況に基づき、復旧計画を検討
- 経済産業省からの要請に基づき、19日12時にエリア全体の大凡の復旧見込みを報告
(立入困難箇所を除き、20日中に7割程度、21日までに復旧完了を目指す)
- 復旧計画策定ができたエリアから、順次、地区毎の復旧見込みを発信
(北部エリアは 9/19 22時頃、中部エリアは 9/20 20時頃、南部エリアは 9/21 2時頃)

(2) SNSによる情報発信・コールセンター対応

- ホームページ、携帯メールサービス、ラジオスポットCM、ツイッター、フェイスブックを活用して情報を発信
- コールセンターへの問合せ
 - ・ 累計：約 116千件、
 - ・ 最大：約 5千件/時間 (9/19 9～10時)
- 自動応答専用ダイヤルへの問合せ
 - ・ 累計：約 35千件
 - ・ 最大：約 2千件/時間 (9/19 9～10時)
- チャットでの問合せ
 - ・ 累計：約 80千件
 - ・ 最大：約 4千件/時間 (9/19 9～10時)



(1) 自治体等との連携

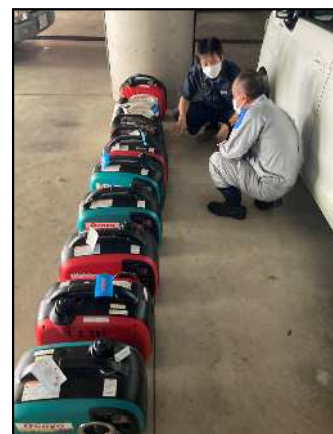
① リエゾンの派遣

- 迅速な情報収集・連携による早期復旧を図るため、4県4市村等へリエゾンを派遣
- リエゾンが自治体関係者等と緊密に連携し、迅速な道路啓開・早期の停電復旧を推進

派遣元	派遣先	派遣期間	最大派遣 人数
佐賀支社	佐賀県	9/18～9/20	2名
長崎支社	長崎県	9/19	2名
大分支社	杵築市	9/21	2名
熊本支社	熊本県	9/19～9/20	2名
宮崎支社	宮崎県	9/20～9/22	2名
	椎葉村	9/20～9/22	2名
	諸塚村	9/20～9/24	2名
	日向土木事務所	9/22	2名

② ポータブル発電機の貸出

- 宮崎県諸塚村、椎葉村にポータブル発電機（70台）を搬送、個別お客さまニーズに応じて村役場より貸出を実施（その他、個別お客さまへの貸出等を含めて計 101台を貸出）



諸塚村役場への搬送の様子

③ 県防災ヘリによる要員派遣

- 佐賀県の離島（加唐島）への渡航ができず、復旧作業ができない状況であったことから、県防災ヘリによる復旧要員の派遣を実施（9/20 計12名、2往復）



復旧要員派遣の様子（於：唐津市浄水センター）

(2) その他関係機関との連携

① 西日本高速道路株式会社との連携

- 西日本高速道路株式会社との協定に基づき、宮崎エリア等への応援車両の高速道路通行止め区間の車両通行を要請し、迅速な資機材等の搬送を推進（計159台）

② イオン株式会社との連携

- 大雨により事業所付近の五ヶ瀬川・大瀬川の水位が上昇。氾濫に備え、イオン株式会社との相互支援協定に基づき、近隣店舗の駐車場を借用



イオン九州(株)イオン多々良店への駐車の様子

- ・ 駐車台数：20台（26台分のスペースを使用）
- ・ 期 間：9/18 23時～9/19 8時